

福井工業大学

後援会会報

Fukui University of Technology 2022

2022年4月20日発行

福井工業大学
後援会

64

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号
電話 (0776) 29-7864
FAX (0776) 29-7891
E-mail koenkai@fukui-ut.ac.jp



学友会が企画・実施した大学祭の一場面

特集 学位記授与式・入学式 [3・13P]

特集 コロナ禍を経た卒業研究発表 [4～11P]

- ・後援会について^[2p]
- ・新施設の紹介— 2-802教室・女子寮^[12p]
- ・医務室より^[14p]
- ・社会貢献— 未来塾・公開講座・科学実験キャラバン^[15p]
- ・大学祭^[16・17p]
- ・キャリアセンター 就職支援課^[18・19p]
- ・校内奨学金制度紹介^[20p]
- ・相談窓口／前期行事予定^[21p]

令和3年度秋季保護者個別懇談会・就職セミナー報告 [22P]

後援会定期總會のお知らせ [23P]

福井工業大学

後援会について

後援会の目的と事業について

- 目的**
1. 大学運営に寄与すること
 2. 学生の福利厚生増進に寄与すること
 3. 会員相互の連絡・親睦を図ること

事業

1. 保護者懇談会事業
2. 学生活動支援事業
3. 広報・通信事業



後援会の事業について

事業1. 保護者懇談会事業

- (1) 地区懇談会(5～7月)

【開催地区】

県内外計6会場またはオンライン
 ※昨年度は、福井キャンパスの教員と各会場の保護者様とでオンラインにて個別相談のみ実施

【内 容】

- ① 教育・就職報告会
 - ② 親睦会(昼食)
 - ③ 保護者個別懇談会
- ※福井地区は保護者懇談会のみ
 新型コロナウイルス感染症の状況により
 実施内容に変更あり

- (2) 就職セミナー(9～10月)

【開催地区】

県内外の会場またはオンライン

【内 容】

就職セミナー(外部講師)

福井工業大学後援会は、本学在学者の保護者で構成されています。

大学の方針により、本学の発展に寄与するとともに、大学と学生及び家庭との連携を密にし、教育事業を援助することを目的としています。

各事業は、後援会費により運営されています。



- (3) 秋季保護者懇談会(10月)

※昨年度は、対面およびオンラインで実施

【開催地区】

福井(本学)

【内 容】

学生生活・成績に関する個別相談

事業2. 学生活動支援事業

- (1) 課外活動支援
- (2) 大学祭の補助
- (3) 就職活動に対する補助
- (4) TOEIC受験料の半額補助
- (5) インフルエンザ予防接種料の一部補助
- (6) 慶弔、災害時における見舞金の支給 等

事業3. 広報・通信事業

- (1) 後援会報の発刊(4月、9月)
- (2) ホームページの更新

後援会役員を募集します

後援会役員は学年ごとに約10名程度、事業の運営に協力を頂いております。大学へ進学すると、保護者同士の情報共有する機会が少なく、子を心配に思う保護者様から「後援会役員になって良かった」との声を頂いております。後援会役員にご協力・ご興味のある方は、以下までご連絡ください。



福井工業大学後援会事務局(大学庶務課) ☎0776-29-7864



令和三年度 学位記授与式



三月十五日（火）午前十一時から、サンドーム福井において令和三年度学位記授与式が挙行されました。

穏やかな気候のもと、大学院修了十五名、学部卒業生五一五名の計五三〇名が本学の学び舎を巣立っていきました。

掛下学長は式辞の中で、人類の歴史でも未曾有のパラダイムシフトの中、「おかげ様」の言葉に秘めた感謝の気持ちと「今日なし得ることに全力をつくせ」という気持ちをもって、自分のアイデアやひらめきを大切に、変革の担い手として活躍してほしいとの言葉を修了生・卒業生へ送りました。

卒業生総代答辞では、環境情報学部経営情報学科 田中 美優さんが「コロナ禍のように今後も予想ができない困難に対し、大学で学んだ知識と技術を活かし、課題に立ち向かい、より良い未来を切り開いていく」と決意を述べました。

本学での学び、教職員や友人との出会いを財産にし、社会で活躍されることを心よりお祈りいたします。ご卒業の皆様、保護者・ご家族の皆様、おめでとうございます。

学校法人 金井学園 福井工業大学 令和3年度 学位記授与式



コロナ禍を経た卒業研究発表

工学部 電気電子工学科

主任教授 青山 隆司

保護者の皆様には、コロナ禍でのご子息・ご息女の教育につきましてご心配なところと思います。

福井県では十一月半ばから年内一杯はコロナの新規感染者が確認されない状況が続いていましたが、年明けから感染者が急増する中で卒業研究発表会（一月二十九日）が行われました。例年とは異なるこの様な厳しい環境下で実施された卒業研究につき、以下に報告いたします。

卒業研究の実施状況

卒業研究はコロナの感染防止対策を徹底した上で対面授業の形で行ってきました。しかし、本学の学生からコロナ感染者が出る状況になり、オンラインで出来る研究指導はオンラインで行い（写真参照）、対面が必要な場合のみ大学での対面指導を行いました。このような研究指導に対する制約は、学生の研究意欲を削ぐ事にもなり兼ねず、各教員はできるだけ多くの経験をさせるため努力をしてきました。

例えばある研究室では、昨年十二月中旬、コロナの第五波が下火になった時期を利用して、大阪大学を訪問し、本学における共同研究（卒業研究）の成果報告を行うとともに、阪大レーザー研の大型レーザー装置の見学を行いました（写真参照）。大阪大学からは三名の先生方および本学電気電子工学科を二〇一八年春に

卒業し大阪大学大学院工学研究科に進学した先輩も出席し、卒業研究生が発表する内容に対して多くの質問やコメントを頂きました。訪問した学生は、日頃目にしない大きなスケールの教育・研究機関の存在に驚くとともに、自身の研究の意義を再発見したようでした。

卒業研究のテーマ

昨年度の卒業研究テーマは、コロナ禍に対応した研究テーマが数多く選択されたことが特徴です。例えば、モノに触れずに操作を可能にする「非接触インタフェースに関する研究」は、接触によるコロナ感染を防ぐことに直結する研究であり、「機械学習を用いた人の空間距離検出に関する研究」では、人の行列に対してソーシャルディスタンスを確保するため、カメラで撮影した画像から人物の位置を検出し、人と人の距離を推定する研究です。このようなテーマの選定から、学生時代をコロナと共に生きることを強いられた学生諸君の逞しさを感じます。

卒業研究発表会

卒業研究発表会はすべてオンライン（Microsoft Teams）で行うこととし、発表時間を考慮し四つのグループに分けて実施しました。各グループは二あるいは三研究室で構成され、卒業研究発表をする学生は自宅などから自分の属するグ

ループの発表会に参加し、発表用のパワーポイントを共有化し、発表を行いました。このような形での卒業研究発表会の利点は、三年生以下の学生が自由に自分の興味がある発表が行われるグループに参加し、質問をすることができると、さらに複数のグループ会場を渡り歩くことも可能なことです。

卒業研究論文の審査会

卒業研究論文の審査会は、例年発表会の数日前に、提出された卒業研究論文を全教員が回し読みし、審査を行います。しかし、昨年度は全教員が一堂に会することが難しいと判断し、全学生の卒業研究論文を電子ファイルの形で Microsoft Teams にアップロードし、各教員がそのファイルを読むことにより審査会に替えました。この審査方法は、教員の時間があるときに時間をかけて論文審査を行うことができるため、効果的な方法であると考えています。



Teamsでの卒業研究指導



大阪大学レーザー科学研究所訪問

前号でもご報告しましたが、機械工学科では他学科と同様に、令和三年末までは対面とオンラインのハイブリッド方式で授業を実施しました。月、水、金曜日に主として専門科目の授業を対面で行い、火、木曜日に主として教養科目の授業をオンラインで行いました。

機械工学科では多くの実験および実習の授業を行います。いずれもその趣旨から対面での実施が望まれます。また、その授業の過程では、学生どうしが接近し、議論をする場合があります。そのため、感染防止対策が求められます。そのため、従来よりも広い教室を使用したり、クラスを分割するなどの工夫を進め、学生間の距離を保つようにしました。一方、実験・実習前の学習や実験・実習後の考察やレポート作成にはオンライン教育支援システムである *manaba* を活用するようにしました。

卒業研究でも、多くの研究室で実験をとまなう研究を進めました。令和三年度は八十九名の四年生が卒業研究に取り組みましたが、テーマ毎に実験の日時を細かく割振り、実験室が密にならないよう工夫しました。一方、実験の計画段階での学習や実験結果の考察などの議論は、テーマを越えたメンバーでのディスカッションが有効です。そのため、ゼミや輪講および実験結果の考察についてはオンライン会議システムである *Teams* 等を利



実験の様子

用し、なるべく多くの学生で議論するようにはしました。卒業研究発表会は二年ぶりに対面で行うべく準備を進めてきましたが、年が明けて始まった第六波のため、令和二年度に引き続き、オンラインでの開催となりました。発表会は研究室毎のオンライン発表を関連分野の複数の教員が審査する形で行い、活発な質疑応答が行われました。

自動車システムコースの四年生のうち希望する学生は整備士資格の取得を目指します。令和三年度も卒業研究終了直後から、実験や実習の授業と同様に学生間の距離が保てる講習会を開催し、整備士資格取得の準備のための学習を継続しました。



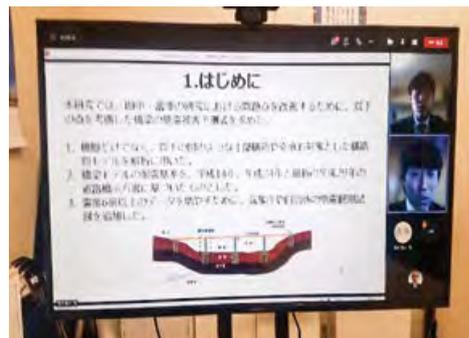
自動車整備士資格取得に向けた講習会の様子

工学部 機械工学科

主任教授 西岡 岳

工学部 建築土木工学科

主任教授 宮本 裕司



研究発表の状況

令和三年度の建築土木工学科の卒業研究発表会は、オンライン形式で令和四年一月二十二日、二十三日の二日間で開催しました。発表者は六十七名であり、建築コース四十八名、土木コース十九名でした。オンライン発表のため学生はそれぞれ自宅や寮・アパートで待機し、指導教員の進行のもとに一人七分発表・三分質疑の持ち時間で進みました。発表の順番となり、パソコンの画面が切り替わると、スーツ姿で緊張した面持ちの発表者が現れましたが、それぞれが研究成果をしっかりとプレゼンしてくれました。特にこの年度の学生は、想定もしない新型コロナウイルスの感染禍の中で、学生時代の最後の二年間を過ごしましたが、教員全員が学生たちの成長を見ることができました。

研究発表会の開催方法については、年が明けてからのオミクロン株の感染急拡大で、急遽対面からオンラインでの発表に変更せざるを得ませんでした。また例年開催している卒業設計と模型作品を一般の方々に展示する卒業設計展も、延期することになりました。教員としては大學生生活を締めくくる成果発表を、是非対面だと考えましたが実現できず、誠に残念に思っています。オンライン発表への変更にともない、教員側では学生それぞれのインターネット環境の調査を行い、発表手順の見直しを指導しました。事前のリハーサルでは、より分かりやすいプレゼンテーションのやり方や、想定される質疑への対策を行いました。そのため、コロナ禍以前に比べて研究発表の準備に時間をかけた学生もいました。研究を進めたこの一年においては、昨年の春から夏にかけてのコロナ感染の増大の影響で、研究テーマをじっくり議論し、調査と実験を着実に進めるべき時期に十分な時間をかけて対面での指導ができない状況でした。そのため研究計画を変更せざるを得ない研究室も事実ありました。また秋ごろから年末にかけての、コロナ感染が沈静化した短い期間に集中して、研究対



研究発表での質疑応答の様子

象の地域に出かけてフィールド調査や計測を行った研究室もありました。一方、オンラインでの研究と発表を経験したことを、マイナス面だけでなくプラス面として捉えることも必要かと考えています。卒業生が社会に出て活躍する建築土木の業界は、日常の業務ではオンラインによる会議が活用され、労働人口の減少への対策として建設DX（デジタルトランスフォーメーション）が推進されています。それにはICT（情報通信技術）を利用したりモータによる設計や施工や維持管理の業務の効率化が求められています。今回の卒業研究を進めた過程のいろいろな場面で利用したりモータ技術は、時間と距離の壁を越えて、成果物を仕上げる最適な手段と考えられます。是非ともこの卒業研究の経験を、それぞれの学生がこれから活躍する職域で、活かしてほしいと願っています。



交通インフラ調査の一コマ

昨年度もコロナの影響を受け、従来の授業の形態をとることができませんでした。しかしながら授業に工夫をこらし、このような状況でも従前と遜色のない授業をと努力を重ねてきた一年でした。

まず、教養科目、これは一クラスの人数の多い科目ですが、これをオンラインとして密をさける工夫をしています。しかもその開講曜日を月曜と木曜と限定いたしました。これらの授業は、オンデマンド形式とし、manabaと呼ばれる掲示板に授業コンテンツを掲示しておきます。学生は必要に応じて（普通は授業が実施される時間に）これにアクセスして授業を受ける形式です。学生がこの掲示資料を見ることができ、時間を指定したり、それを学んだ後のレポートの提出を義務化したりして、習熟度の向上あるいは知識の定着に努めました。さらに教養の英語の授業は、講師との直接の対話が必須であるため、zoomやTeamsといったツールを使い、リアルタイムの遠隔授業となっています。

月・木以外の曜日は基本的に対面授業として、専門科目を中心としたカリキュラム構成としました。実験や演習は対面授業が必須ですので、換気、手指の消毒、マスクの着用などに注意を払いながらの対面授業としました。また、変則的ではありませんが、一昨年度コロナの影響で実施できなかった、二年次の放射線計測実

習を、昨年度は三年次前期で実施し、積み残しの授業が無いように配慮しました。

後期に入りましても前期と同様、教養科目を中心とした科目は月・木曜日のオンライン開講とし、専門科目はそれ以外の曜日に対面での開講授業としました。専門科目の中でも、四年次の卒業研究あるいは三年次の創造工学実験は、対面の指導が不可欠です。その理由は、これらの科目は研究であり、前もって結果を予測できないためです。幸いなことに、これらの科目に関しては、コロナが一時下火になった時期に対面による指導が可能でした。

十二月頃になりますとオミクロン株が流行り出し、一月からは専門科目といたしても全面的に遠隔授業に変更せざるを得ませんでした。しかしながら、専門科目授業に関しては、ほぼ主となる分野をカバーし終えていたタイミングでした。このためこれらの専門科目に関しては、試験を遠隔で実施することで対応が可能でした。試験では、各先生が工夫をこらした試験を実施しております。

また卒業研究や創造工学実験については、データを取り終えていたタイミングでしたので、直接対面での指導は必ずしも必要ではなく、卒業論文の執筆指導あるいは創造工学実験の発表資料の製作指導は、遠隔で可能でした。これらの指導に関しては、遠隔でのリアルタイムの指

導も併用したかたちで実施しました。こ

れらの科目は、最終的には、先生方や同級生の前での発表が単位取得の大前提です。このためこれらの発表は、

オンライン形式でしたが、全員が発表を行いました。発表では、資料の提示が必須ですが、対面での報告より画面を近くで見ることができ、ことを反映して、理解しやすい面もありました。

さて、一年を振り返って気が付いたことは、オンライン授業に適性を有する学生も散見することでした。対面授業では能力を十分発揮できていなかった場合でも、オンライン授業では、出席率も向上し、正確に授業を理解する学生もいたことです。学生個々の特性に配慮しつつ、遠隔・対面の授業のさらなる充実を図っていきたいと思っています。



卒論発表の様子

工学部

原子力技術応用工学科

主任教授 西嶋 茂宏

本学科では、化学の様々な分野に関して豊富な実験・実習を行うことで、科学的思考に基づいた研究結果のまとめ方やレポート作成、またその発表方法を学びます。卒業研究は大学四年間の学びの集大成であり、極めて重要な意味を持っています。卒業生には、卒業論文、口頭発表のスライド原稿、予稿原稿などの作成と提出が義務付けられ、卒業研究発表会当日は、学会発表と同様な形式での口頭発表と質疑応答が求められます。学生は例年、十二月下旬から一月に大学で実験結果のまとめを行います。二〇二一年度はオミクロン株の感染症の拡大のため、全て家で行うことになりました。もちろん教員の指導や学生間の相互連絡は必要ですので、実験データのやり取りや卒業論文等のブラッシュアップは、メールや大容量ファイル転送システムなどを活用しました。また、卒業研究の発表練習やスライドのブラッシュアップは、Microsoft Teams (以下、Teams) などを利用しました。

発表会自体の準備については、Teams上に卒業研究発表会のチームを作成し、大学院生や三年生が後日アーカイブ閲覧できるように設定しました。予稿集はMicrosoft SharePoint (限定公開) にて情報共有しました。発表時間については、質疑応答時間を長めに設定し、発表の間には一分間の移行時間を設けました。さらに、学生には発表動画ファイルを事前に

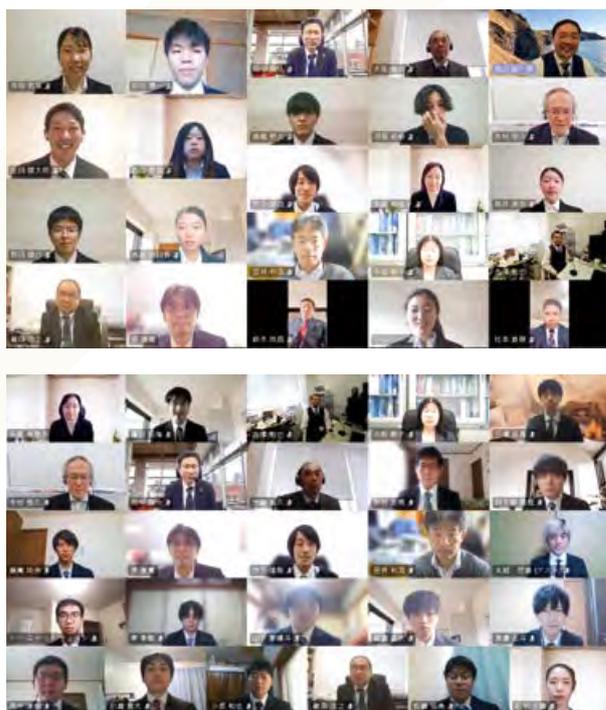
に作製してもらい、不測の事態に備えました。

卒業論文発表会当日(二〇二二年一月二十九日(土))は、学生は同級生の発表を聴きつつ、スーツ姿で自宅のPCの前に控え、自分の発表時間が来れば、Teams上に自分の姿を映して、発表ファイルを共有し、ポインタを操作しながら発表しました。その後は教員からの厳しい質問にライブで答えました。教員は順番に座長を務め、また、指定された時間にライブでチャイムを鳴らすことで、学会発表と同様な緊張感を学生に味わってもらえるようにしました。その結果、すべての学生が時間を守って適切に発表し、教員の質問にも真剣に答えることができました。さらに、毎年行っている集合写真については、Teams上で、学生を二つのグループに分けて、各グループ全員がWebカメラをオンにしてPC画面上に並んで録画しました。



発表の例

以上、今年にはオンラインでの初めての開催でしたが、大きなトラブルもなく、全ての学生が研究成果を



集合写真(午前の部の学生と午後の部の学生)

きちんと発表し、質疑応答にも対応しました。これにより、従来の対面での発表会と遜色ない発表会ができたと考えています。学生自身にも、自分の研究結果を発表することの楽しさや充実感を味わってもらえたのではないかと考えています。彼らは、大切な時期に新型コロナウイルスの影響を大きく受けた学生たちでしたが、柔軟かつ真摯に卒業研究に取り組む、このように充実した発表会を成功させてくれました。このことは、彼らの大きな成長の結果であり、教員一同大変嬉しく思っております。

環境情報学部
環境・食品科学科
 (現 環境食品応用化学科)

主任教授 矢部 希見子

環境情報学部 経営情報学科

主任教授 馬場口 登

昨年度の前期からは一教室当たりの定員と換気を管理することでコロナウイルスの感染予防に細心の注意を払い、専門科目につきましても対面授業を再開しています。卒業研究も同様で年末年始の休みまでは、対面にて卒業研究発表会を実施すべく卒業生への指導と発表会場の準備をしていました。しかし、一月上旬からの急速なコロナ感染者の増加に伴い、専門科目がオンライン授業となり、卒業研究の指導ならびに発表会もオンラインとなりました。

経営情報学科では、大学での学習の総まとめとして卒業研究の判定を厳格化しており、学士力の検証を合わせて行っています。このような考えのもと、卒業研究の可否判定の審議は本年度で十二年目です。否となった場合、卒業論文の再提出や再発表を課しています。発表形態がオンラインとなりましたが、当日は、例年どおりの緊張感ある発表会となりました。

オンラインでの発表では、卒業生たちのネットワーク環境も懸念されましたが、当日は発表者全員が無事に発表と質疑応答を終えることができました。

経営システムコースに関する教員に配属された卒業生の発表では、データ解析や経営指標に基づく比較分析、企業経営に関するケーススタディに関する内容が多く、政策システムコースでは政策に対する経済的評価や物流効率化による経済



オンラインでの卒業研究指導

効果の測定、地方都市人口の時系列的調査など定量的な分析に基づく研究発表でした。また、情報システムコースは機械学習のアルゴリズムを使ったコロナ感染者の予測や深層学習、IoTの活用、情報教育に関するシステム開発などでした。どの発表もコースの特色が表れた内容でした。

年明け以降、オンラインでの卒業研究指導では、スライドや発表文言の修正において、対面とは違ったもどかしさや困難さを感じましたが、種々のネットワークツールを使い、例年以上に密に卒研ゼ

ミをした研究室が多かったようです。今日、コロナ禍の影響はまだ見通せませんが、学びの質が落ちることがないように、経営情報学科教員一同努力しています。保護者の皆さまにおかれましてもご理解のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。



卒業研究発表会もオンラインで開催

環境情報学部 デザイン学科

主任教授 川島 洋一



卒業研究発表会(大学2号館)

た。学科からは、ごく若干名のコロナ感染者を出しましたが、いずれも軽症で、学内でほかの学生にうつすことなく、平穏なキャンパスの環境を維持できました。これは教職員の努力はもとより、学生諸君の自覚やご家庭のご理解・ご協力があったことです。心より感謝申し上げます。

さて、本学では、学びの集大成としての「卒業研究」にすべての四年生が取り組んでいます。デザイン学科の場合は、「卒業論文」を選択する学生は少なく、自ら設定したテーマにもとづいて作品制作を行う「卒業制作」を選択する学生が毎年八割を超えるのが特徴です。年明けか

デザイン学科は設立から十三年が過ぎ、今年で十回目の卒業生を送り出します。その間一貫してこだわってきたことは、実習・演習中心のカリキュラムにより、作品制作で手を動かすことを最優先する教育方針です。その結果、学生のレベルは年々向上し、毎年たくさんデザイナーやクリエイターを輩出してきました。

悪夢のような一昨年のコロナ禍から一転して、昨年度は前期のはじめから、専門科目では通常通りの対面指導に戻すことができました。

らはオミクロン株の大流行により、また緊張が走りましたが、デザイン学科の卒業研究は幸い年内が提出と発表会でしたので、影響を最小限に抑えることができました。

私たちは卒業研究を学内の発表会で終わりにせず、毎年「卒業制作展」として成果を世に問うことを続けています。今年は二月四日から六日まで、福井市美術館で開催しました。コロナ禍に加え降雪もあり、来場者数を心配しましたが、結果は三日間で四二二人、新聞二紙の取材もあり盛況でした。毎年ご来場いただいているプロのデザイナーや美術館関係者からも今年の作品展のレベルの高さをお褒めいただきました。今、静かに喜びを噛みしめています。

感染拡大が心配されるなか、この制作展が本当に開催できるのか心配しましたが、二人組という最小単位で準備作業を交代で行い、美術館への搬入作業も綿密な計画を立て、最小限の人数で実施しました。一人の感染者を出すこともなく無事に開催できたことを誇りに思います。

引き続き、感染防止対策には万全を期して新年度を迎えます。保護者のみなさまのご理解・ご協力を、あらためてお願い申し上げます。



卒業制作展会場風景(福井市美術館)

後援会の皆様には、学生活動支援事業、保護者懇談会事業、広報・通信事業などを通して、日頃から福井工業大学の学生を温かく見守っていただきまして、また、多方面にわたりご支援いただきまして、誠に有難うございます。

前回発行の「後援会会報63号」では、コロナ禍において、manabaというクラウド型の教育支援システムによる授業の様子をご紹介させていただきました。このように、学科内では各種教育プログラムを活用して授業等を行ってまいりました。今回はオンライン会議などで広く活用されてきて、学生との意見交換が比較的自由にできる Microsoft Teams による授業の様子についてご紹介させていただきます。

卒業間近な学生が四年間の学業のまとめとして取り組むのが卒業研究ですが、本学科の山元康平講師がその Microsoft Teams の機能を利用し、学科内の全学生に対して中心的にその卒業研究の発表会を企画・運営してくださいましたので、山元講師に執筆をお願いしご担当いただきました。

スポーツ健康科学科では、卒業研究発表会での口頭発表が卒業要件となっております。学生達は、四年間の学科での学びの集大成として一年以上かけて研究に取

り組み、その成果を、毎年一月末に行われる発表会において、五分間のプレゼンとして発表し、質疑応答を行います。

年度初めは対面での卒業研究発表会を計画しておりましたが、二〇二二年の年明け後の全国的な新型コロナウイルス感染症拡大を受け、やむをえず昨年度は、オンラインでの実施に踏み切りました。そのため、指導教員は急遽オンライン発表に向けた指導を行うとともに、学科の教員間で協力し Microsoft Teams による発表会の準備を行いました。

発表会当日は、七十三名六十五演題（個人発表六〇演題、グループ発表五演題）が、Microsoft Teams 内に設置された三つの会場に分かれ、学生が自身の発表プレゼンを参加者に画面共有しながら発表と質疑応答を行いました。当日に急遽PCR検査を受けなければならなくなった学生、待機先のホテルから発表をした学生等、当日まで様々な対応が必要でしたが、懸念していたネット環境やPC等のトラブルはほとんどなく、活発なディスカッションも行われながら、概ねタイム



Microsoft Teamsによる卒業研究発表会

スケジュール通りに発表会を実施することができました。昨年度の卒業生は、三年次からオンライン授業を経験しており、急な変更にも関わらずよく対応し、発表と質疑を堂々とやりきってくれました。



卒業研究の発表プレゼン

卒業研究発表会は、卒業のための最終審査であるとともに、学生達にとっては四年間の集大成を披露する晴れの舞台でもあるため、対面で実施してあげたかったという思いもあります。しかしながら、こうしたリモートでの発表や会議は、今後の社会生活でも多く経験することであると考えられるため、今回リモートでの発表や急な対応を経験できたことが、今後なんらかの形で彼女らの財産となることを願っています。

スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科

主任教授 戎 利光 / 講師 山元 康平

■ 大学2号館 2-802教室

Building No.2 2-802 Classroom

令和3年7月に福井工業大学大学2号館2-802教室のリニューアルが完了いたしました。〈座席数〉192席（内2席は車いす仕様）、〈設備〉LED 照明設備、プロジェクター3台、カメラ4台、モニター4台、ホワイトボード（全長25m）、エアクリナー2台を備え、55㎡の大きなステージを配置し、講義だけでなく講演会等のイベントにも活用できます。



Facilities 2

■ 女子寮

Women's dormitory

令和4年3月に福井工業大学 学生寮「VARROD'Z Shimakawa」が竣工いたしました。この寮は女子学生専用で、近年増加している女子学生の生活への利便性と安全・安心に配慮したものとなっております。





令和四年四月二日（土）、福井キャンパスの金井講堂にて感染予防措置を徹底し、学生・教職員のみにて二部制で入学式を挙行しました。学部学生五百五名、編入学生二名、大学院生二十一名の合計五二八名が、新たなスタートを切りました。

掛下学長は「今回の事態が収束した後は、日本も世界も、その在り様が間違いなく大きく変わります。その時に最も大きな力を発揮するのは、これまでのしがらみにとらわれない、柔軟な発想をもった若い皆様の行動力です。他人への思いやりと、責任感をもって、これからの福井を、これからの日本と世界を変えていくために勉学に励んでください。」と式辞を述べました。

新入生を代表して、工学部機械工学科の西辻遥人さん、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の古川奈瑠美さんが「建学の精神に則り、勉学に励み、学問の真理探究にまい進する」と宣誓しました。



令和四年度 入学式

医務室より

学内インフルエンザ予防接種を行いました。

福井工業大学では毎年大学構内でインフルエンザ予防接種を実施しています。

令和3年度は3日間実施し、368人の学生が予防接種を受けることができました。

予防接種料金は通常3,000円～4,000円かかりますが、学内で受けた場合、後援会より1,000円、学生健康保険組合より500円の助成があり、1,500円の自己負担のみで受けることができます。毎年、多くの学生がこの機会を利用し、自身の感染予防対策に努めています。

近年はインフルエンザワクチン接種の普及や新型コロナウイルス感染症予防対策により国内のインフルエンザ流行もなく、大学でも2年以上インフルエンザに罹患する学生が出ておりません。

今年度も状況を見ながら学内インフルエンザ予防接種を実施する予定です。



新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）を行いました。



本学では新型コロナワクチン追加接種を推奨する政府方針に基づき、福井県と連携し、追加接種を希望する本学学生及び教職員を対象として、3月下旬に3日間にわたり新型コロナワクチン追加接種を実施しました。

学生は令和3年度卒業生を含め419名がこの機会を利用しワクチン接種を受けることができました。就職活動や新年度の授業開始前に受けることができ、安心だという声も多く聞くことができました。

今後本学では追加接種の機会はありませんが、県外から来福し、どこで予約したら良いかわからない等ご質問がありましたらお気軽に医務室にご相談ください。

大学では新年度も引き続き、マスクの着用、手指消毒、各教室共有物の使用前の消毒の励行等、感染予防対策を継続していきます。

学生の皆様も毎日の健康観察、基本的な感染予防対策を徹底し、少しでも体調に異変を感じたら大学を休み、県の受診・相談センターへ連絡、医療機関を受診するようにしてください。

また、新型コロナウイルス感染症陽性者、濃厚接触者になった場合は医務室、学務課までご連絡ください。

医務室：0776-29-2629

社会貢献

福井工業大学の
社会貢献活動

近年、コロナ禍により社会貢献活動は縮小しておりますが、令和3年度は感染対策に十分配慮し実施いたしました。

「未来塾」開講

▼柔道家のウルフアロン氏が
成功や苦悩を熱く語る



令和3年12月19日(日)、
2020年東京オリンピック
柔道男子100kg級で日本に
21年ぶりの金メダルをもたら
しました、ウルフアロン氏
をお招きし「失敗から学んだ
こと〜金メダルへの道〜」を
テーマにご講演いただきました
が、2年ぶりの開催となりま
したが、327名のご来場を
いただきました。



「公開講座」開講

▼一般市民から小中高生を対象とする講座

令和3年度は47講座開催し、合計482名の方にご参加いただきました。感染状況によりオンラインで実施した講座もあり、参加者の皆さんが安心して参加できるよう配慮いたしました。



「科学実験キャラバン」

▼子どもたちに科学の楽しさを
身近に感じてもらうために

令和3年度は19件
開催いたしました。
コロナ禍における
新しい取り組みとし
て「ハイブリッド式
オンライン科学実験
キャラバン」を実施
しました。



第58回福井工業大学
大学祭

祭
起

令和3年12月11日(土)

10:00~18:00

大学5号館 金井講堂にて

- ・早飲み選手権
- ・FUTクイズ大会
- ・吉川愛トークショー
- ・ビンゴ大会

主催：大学祭実行委員会





令和3年12月11日（土）に第58回福井工業大学大学祭～祭起～を開催いたしました。このテーマは、再び立ち上がる「再起」という言葉を当て字にして考えました。昨年度開催できなかったことに加え、新型コロナウイルス感染症にて様々な活動自粛が求められる現状から福井工業大学大学祭実行委員会では私達から再び立ち上がり、今までにはなかった新しいカタチの大学祭を開催したいという思いが込められています。そのテーマの通り、皆で協力し合い、FUTの学生を盛り上げるべく、私達は再び起き上がる事ができました。豪華景品を用意したe-スポーツ選手権やFUTクイズ選手権、学生、教職員で参加したFUTビンゴ、アーティスト企画では人気女優のトークショー等、金井講堂には1,042名の学生にご来場いただき、参加された学生や教職員の皆様には楽しんでいただけたかと思えます。新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から学内限定の大学祭となり、不安を抱いておりましたが、企画は大変盛り上がり大学祭実行委員会一同は大きな達成感を得る事ができました。ご来場いただいた学生の皆様には心より感謝申し上げます。

また、今年は制限のかけられた最中で新たな企画や様々な景品を用意し、準備や運営には大変なことが沢山ありましたが、実行委員会と学務課の連携を怠らず一致団結し、再び開催することができたこの経験は私たちを大きく成長させました。今回、大学祭に向けてご協力いただきました学園関係者の皆様には、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

第58回福井工業大学大学祭実行委員 実行委員長 平木 航太



夢に向かって!

コロナに負けず

現在の社会はICTの飛躍的な進歩を基盤に、よりグローバル化され、高度に複雑化された社会と言えます。

しかし、近年新型コロナウイルス感染症によりこの社会の活動を止めるような状況が暫く続き、人の動きを止め物流をストップさせ、日本のみならず世界の経済活動を抑制しています。企業の求人活動も影響を受けておりますが、少子高齢加速化の中、人手不足は続いているようです。

そのような状況下での大学生の就職活動は以前と異なり、「フェイス・ツー・フェイス」を重視していた企業にもオンライン面接が多用され

る今日この頃です。キャリアセンターでは、このような状況に対応するため担当職員は、オンライン面談を「いつでも、どこでも」対応できる体制を整え相談業務に当たっています。

また、インターンシップへのエントリーも二年時からスタートできるようプログラム実施の早期化を図っております。

そして、民間企業経験者やキャリアアカウンセラーなどの専門職員を各学科ごとに配置し、各学科の就職担当教員と緻密な連携を図りながら、学生一人一人に寄り添い、「**将来の夢の実現**」を全力でサポートして参ります。

キャリアセンター長 **島田 茂**



就職ガイダンスをオンラインにて実施



インターンシップキックオフ



リーダーズキャンプ



業界研究会



年間のガイダンス等予定

時 期	内 容
3年次 4月～8月	就職ガイダンス① 「就職準備スタートアップ講座(サイト登録)」
	就職ガイダンス② 「インターンシップのためのスケジュール・TODO の確認講座」
	就職ガイダンス③ 「インターンシップのための企業選び&エントリー / 合説後の動き方」
	就職ガイダンス④ 「インターンシップのための履歴書・エントリーシートの準備」
	就職ガイダンス⑤ 「インターンシップのための身だしなみ・マナー講座」
	就職ガイダンス⑥ 「就活準備 前期総まとめ講座(進捗確認)」
	インターンシップ学内合同企業説明会
	留学生ガイダンス 「就活スタート講座」
	筆記試験対策講座「WEB 模試受験会」
9月～12月	個別指導(学科別)(エントリーシート・履歴書添削、模擬面接)
	キャリアリーダーズキャンプ(早期就活集中セミナー)
	就職ガイダンス⑦ 「自己分析 We bテストフォローアップガイダンス」
	就職ガイダンス⑧ 「学園理事長から就活生に向けて」
	留学生ガイダンス 「履歴書対策講座」
	就職ガイダンス⑨ 「いよいよ就活本番に向けての動き出しへ! 後期スタートアップ講座」
	就職ガイダンス⑩ 「業界・企業研究講座」
	就職ガイダンス⑪ 「就活本番に向けた ES 対策講座」
	就職ガイダンス⑫ 「合同説明会の参加の仕方」
	就職ガイダンス⑬ 「就活本番に向けた面接対策講座 (WEB 対策含む)」
	就職ガイダンス⑭ 「いよいよ就活解禁直前!総まとめ講座」
	業界／職種研究会(学科別)
	学内個別企業セミナー
学内合同企業研究会	
1月～3月	証明写真撮影会
	都市圏就職活動セミナー 就職 EXPO(マイナビバスツアー大阪・名古屋)
4年次 随時	個別指導(学科別)(エントリーシート・履歴書添削、模擬面接)
	学内個別企業説明会

※社会情勢によりスケジュールが異なる場合があります。

学内奨学金制度紹介

特待生奨学金

学納金50%減免

対象：学部2年次以上または大学院博士前期課程
条件：前学期末までの成績 GPA 評価3.80以上
募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)

学習奨励金

5万円給付

対象：学部2年次以上(大学院は対象外)
条件：前学期の成績 GPA 評価3.80以上かつ前学期の修得単位数が15単位以上
募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)

育英奨学金

学納金30~70万円減免

対象：学部2年次以上、大学院全学年及び家計急変者
条件：保護者の前年度年収が400万円以下かつ前学期末までの成績 GPA 評価2.70以上または、家計急変事由が発生した場合
募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
家計急変については随時申請(※該当年度のみ適用)

スポーツ特待生奨学金

大会成績等により学納金又は授業料減免 ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：スポーツ実績評価型選抜による入学予定者または在學生
条件：本学の規程による

災害特別奨学金

学納金等減免又は災害援助金支給

対象：入学予定者または在學生
条件：被害状況による
募集期間：随時(ただし、被災日より1年以内)

外国留学奨励奨学金

学納金の半額を上限に、渡航費、生活補助費または、留学先の学費の一部補助

対象：学部2年次以上及び大学院全学年
条件：交換留学生または認定留学生として認められた者

大学院進学奨励奨学金

(第1種) 学納金50%減免

(第2種) 国立大学授業料標準額と本学学納金との差額を減免

※最大2年または3年間。毎年度末に継続審査有り

対象：本学が指定する入試区分で受験した入学予定者
条件：本学の規程による

離島・沖縄県出身者支援奨学金

国立大学標準額と本学学納金との差額を減免 ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：当該地域からの入学予定者
条件：保護者が当該地域に居住かつその地域において収入を得ていること

特別奨励金

奨励金支給

対象：在學生
条件：取得した資格、修めた大会成績による
募集期間：随時

推薦選抜奨学金

授業料50%減免

※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：本学が指定する入試区分で受験した志願者(一部入試区分では希望者のみ)
条件：基礎学力検査の合計点が100点満点中80点以上の得点者

一般選抜奨学金

(一種) 授業料全額免除 (二種) 学納金50%減免

※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：一般選抜 A 方式 I 期及び大学入学共通テスト利用選抜 I 期の志願者
条件：入学試験の合計点が一定の基準を満たしている者のうち成績上位者

高大連携協定校特別奨励金

入学金減免

対象：高大連携協定校に在籍している生徒で、指定校推薦選抜の入試区分にて出願する者
条件：高大連携協定校特別奨励金採用基準を満たしている者

注目! 在學生にご兄弟・ご姉妹がいる保護者様へ

兄弟学費減免奨学金

学納金50%減免 ※申請年度のみ適用

対象：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍している場合、希望する1名に対して減免
条件：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍していること
募集期間：年1回(4月~5月頃)

修学支援法に基づく奨学金との併用については別途お問い合わせください。

奨学金についての問い合わせ：学務課 / ☎0776-29-7867

ご相談窓口のご案内

学習・就職・学生生活など、日頃から気に懸かっていることやご心配ごとがございましたら、お気軽に下記担当課へご相談ください。

	問い合わせ先	メールアドレス
総合窓口	0776-29-7864 (庶務課)	syomu-u@fukui-ut.ac.jp
学び(教務関係)	0776-29-7865 (学務課)	kyomu-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7870 (図書館)	tosyokan@fukui-ut.ac.jp
暮らし(学生生活関係)	0776-29-7867 (学務課)	gakusei-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-2629 (医務室)	imushitsu@fukui-ut.ac.jp
進路(大学院進学関係)	0776-29-7871 (入試広報課)	kouhou@fukui-ut.ac.jp
進路(就職)	0776-29-7868 (就職支援課)	syusyoku@fukui-ut.ac.jp
大学の研究支援、社会貢献活動、同窓会	0776-29-2661	shakai-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7834 (社会連携推進課)	futcrc@fukui-ut.ac.jp
センター管理課	0776-29-2671	center@fukui-ut.ac.jp
情報メディアセンター	0776-29-7873 (情報メディア課)	densan@fukui-ut.ac.jp
出納(学費納入関係)	0776-29-2821	
あわらキャンパス	0776-79-0111	
インターナショナルセンター	0776-29-2786 (国際交流課)	international@fukui-ut.ac.jp

※発信元や通信の事由が的確でない電子メールに関しましては、お応えしかねる場合がございますのでご了承ください。

前期行事予定

月	日	行事	月	日	行事
3月	28日(月)～ 31日(木)	前期受講登録ガイダンス (2年～4年)	8月	9日(火)～ 9月13日(火)	夏季休業
4月	2日(土)	入学式	9月	14日(水)～ 16日(金)、 20日(火)～ 21日(水)	後期受講登録ガイダンス (全学年)
	4日(月)～ 9日(土)	全体オリエンテーション(1年) 学科別ガイダンス(1年) 前期受講登録ガイダンス(1年)		23日(金)～ 24日(土)	大学祭
	11日(月)	前期授業開始			
5月	中旬～ 下旬	五月祭			

※上記日程は変更となる場合があります。

令和3年度

福井工業大学後援会

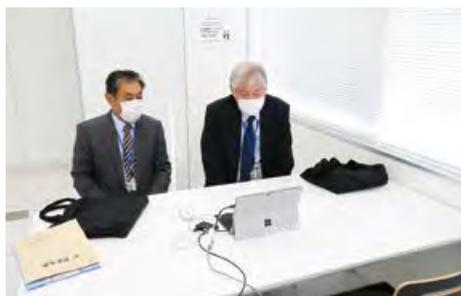
秋季保護者個別懇談会&就職セミナー 開催報告

秋季保護者個別懇談会

令和3年度の秋季保護者個別懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、福井キャンパスにおいて、対面とオンラインでのハイブリッドで開催しました。38名の申し込みがあり、担当教員から学業面や学生生活面について現状をお伝えするとともに、就職を支援するキャリアセンタースタッフからコロナ禍における就職活動の情報を共有しました。

参加いただきました保護者の方からは、直接対面でお会いし、コロナ禍における学生生活や就職活動の現状を聞くことができ、満足とのお話をいただきました。

アンケート等でいただきました、貴重なご意見は、今後の活動に役立てて参りたいと思いますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。



就職セミナー

本学後援会が主催する就職セミナーを10月9日（土）に開催しました。

当日は、11名の参加がありました。外部講師によるセミナーとして、株式会社マイナビの担当者様から、「就職を取り巻く環境と保護者の役割」と題し、コロナ禍における現在の就職動向、インターンシップの状況などを専門的見地から講演を頂きました。

アンケートからもコロナ禍における就職活動の流れを知り、保護者として支援できることが分かったなど、好評の声を頂きました。

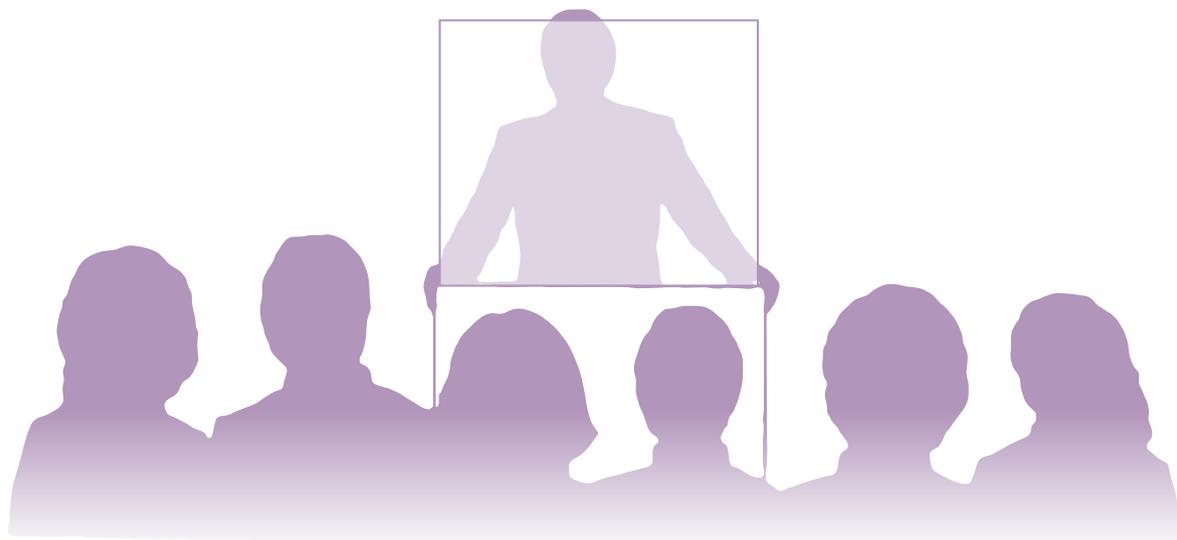
また当日参加できなかった方向けに、就職セミナー（オンデマンド）を後援会HPで配信いたしました。（令和4年3月31日配信終了）

今後も就職に関するセミナー等を企画して参りますので、奮ってご参加頂きますよう、よろしくお願い致します。



令和4年度

福井工業大学 後援会定期総会 開催のお知らせ



令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催をいたしました。

令和4年度につきましては、対面での実施およびオンライン配信に向けて準備を行っております。対面の場合は、感染対策に十分配慮し実施いたしますが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、書面開催へ変更する可能性がございます。開催方法変更の場合は、本学ホームページで速やかにお知らせいたします。

5/28^土 13:00 ~ 福井キャンパス

日 程

13:00 ~

後援会定期総会

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事

(1) 令和3年度事業報告	(2) 令和3年度収支決算報告
(3) 令和4年度事業計画(案)	(4) 令和4年度収支予算計画(案)
(5) 令和4年度役員改選	(6) その他
4. 閉会

14:00[※] ~

福井地区保護者個別懇談会

※定期総会が書面開催の場合は、10時から開催します。
また、定期総会が書面開催となった場合でも個別懇談会は対面で実施します。

事前申込制 (申込方法はP24をご確認ください)

学業・就職・大学生活等お気軽にご相談ください。

令和4年度

福井工業大学

保護者個別懇談会開催のお知らせ

教職員との親睦・交流の場として、保護者個別懇談会を開催いたします。

学修状況、就職、学生生活等についてお気軽にご相談ください。

多数のご出席をお待ちしております。

開催一覧

開催地区	期 日	会 場
福井地区（対面）	令和4年 5月28日（土）	福井工業大学 福井キャンパス
オンライン	令和4年 6月25日（土） ※	福井キャンパスにいる教員と保護者様のご自宅等と オンラインでつないで面談を行います
オンライン	令和4年 7月23日（土） ※	

※6月25日（土）と7月23日（土）は、同内容で実施いたしますので、ご都合のよい日程にご参加ください。

上記日程でご都合が合わない場合は、下記連絡先へご相談ください。

日 程

●5月28日（土）

◇定期総会が**対面**実施の場合

14:00～

・個別懇談会（対面）

◇定期総会が**書面**実施の場合

10:00～

・個別懇談会（対面）

●6月25日（土）・7月23日（土）共通

10:00～（動画配信）

・本学の紹介 20分

・保護者のための就職支援講座 40分

内容：就職状況報告（キャリアセンター）

11:00～

・個別オンライン面談



お申し込み方法

1. WEBでのお申込み

福井工業大学後援会 <http://www.fukui-ut.ac.jp/koenkai/> から保護者懇談会（お申込み）のページへアクセスし、必要事項を入力し、お申込みください。

2. メールでのお申込み、または電話でのお申込み

下記へメール、またはお電話いただき、以下の情報をお知らせください。

①学生氏名、②学科、③学年、④保護者氏名、⑤保護者電話番号、

⑥保護者メールアドレス、⑦希望日、⑧ご質問等

なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。後日、面談の時間をご連絡いたします。